

8/20 第1回東寺領縁の会
いにしえの縁を永遠に



8月20日(日)、せとうち交流館多目的ホールにおいて、東寺領縁の会が開催されました。平成27年に国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産(世界の記憶)に登録されたことを契機に、かつて東寺の荘園であった地域のまちづくりに取り組む関係者の交流を目的として、平成16年まで開催されてきた「東寺領荘園サミット」を継承する形で、東寺領縁の会が発足しました。その第1回の会合が弓削島庄で知られる弓削島で開催されました。会合では、東寺の新見康子文化財保護課長が基調講演として「世界記憶遺産 東寺百合文書を読み解く」と題して、東寺における弓削島庄の重要性等を発表されました。また、愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターの村上恭通教授が新見庄と弓削島庄での最新の発掘調査の成果を発表されました。現在、東寺領縁の会は、新見庄(岡山県新見市)、大山庄(兵庫県篠山市)、太良庄(福井県小浜市)、因島庄(広島県尾道市)、弓削島庄(愛媛県越智郡上島町)で構成されており、「縁を永遠に 未来を拓く」を合言葉に今後も交流を重ねる予定です。

9/2 9/3 海洋考古学会 第8回研究会
全国の製塩の歴史集う



9月2日(土)、3日(日)両日に、せとうち交流館多目的ホールにおいて、海洋考古学会第8回研究会が開催されました。北は北海道の江別市から南は九州の天草市まで、全国各地の研究者が集まり、活気のある研究会となりました。「土器製塩の諸問題」をテーマに各地の土器製塩の実態やその動向を中心に気鋭な発表が行われました。また、3日の研究会終了後に、佐島の宮ノ浦遺跡の現地視察を行いました。

このような研究会が上島町で開催されたことは、大変意義深いことであり、町内で実施している製塩遺跡の発掘調査事業や弓削島庄の総合調査事業を全国へ発信する絶好の機会となりました。

8/20 宮ノ浦遺跡第7次発掘調査現地説明会
鍛冶に関する遺物出土



8月20日(日)、佐島にある宮ノ浦遺跡において、愛媛大学法文学部考古学研究室と町教育委員会による第7次発掘調査現地説明会が開催されました。

昨年度の調査では、古代から中世にかけての遺物の集中的な出土を確認できました。その結果を受けて、7年目となる今年度は、古代から中世にかけての生活域の解明を目標に調査を実施しました。また、これまで宮ノ浦海岸の西側の砂堆(※)やその周辺(I区)を中心に調査を進めてきましたが、今年度から宮ノ浦海岸の東側の遺跡の状況を確認するために新たな発掘調査区(II区)を砂堆上に設定し、2つの地区で並行して調査を実施しました。

I区とII区からは、平安時代後半から鎌倉時代前半の土器や陶磁器が発見され、その中には緑釉陶器や黒色土器、瓦器などの近畿地方から運ばれてきたものも多く含まれていました。また、I区では、鞆の羽口や鉄滓などの鍛冶に関連する遺物が出土しました。II区では、多量の礫とともに、獣骨や魚骨、貝殻、木炭などが確認されました。礫の中には火を受けた痕跡のあるものもあり、食物加工に関する遺構である可能性があります。さらに、II区では、砂堆上に古代から中世にかけて形成された「クロスナ層」が確認されました。クロスナ層とは、温暖湿潤期に動植物の活動が活発になることによって形成された黒色砂層のことです。宮ノ浦海岸では、古墳時代前期のクロスナ層が形成される時代に製塩活動が活発化したことが分かっています。

8月1日から調査を開始し、比較的天候にも恵まれ、現地説明会まで順調に作業を進めることができました。現地説明会当日も晴れ渡り、町内や県内のみならず、関東や関西、九州方面からの参加者もいらっしゃいました。参加された皆さんは、遺跡の説明に熱心に耳を傾け、出土した遺物を観察しながら、古くから海とともに多彩な生活を営んできた先人の生活に思いを巡らしました。

※砂堆…波浪、沿岸流によってできた、砂または礫からなる微高地

8/19 LOVE & BEAT LIVE! 2017
夏の夜空に歌声響く



8月19日(土)、岩城漁港周辺にてLOVE & BEAT LIVE! 2017が開催されました。会場には多くの観客が詰めかけ、心地よい潮風を浴びながらビール片手に音楽を楽しんでいました。

8/21 全国離島交流中学生野球大会
8/25 島っ子たちの熱い戦い



8月21日(月)から25日(金)にかけて、沖縄県石垣市において国土交通大臣杯第10回全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)が開催されました。

上島町からは、岩城中学校野球部が出場し、屋久島選抜との試合で熱戦を繰り広げましたが、残念ながら3-4と負けてしまいました。しかしながら、昨年参加した選手たちの成長した姿を見ることのできた素晴らしい試合でした。来年開催予定の種子島では初戦突破できるよう期待しています。

9/4 上島四島花の島構想
生名にコスモス植栽



9月4日(月)、生名地区網建緑地帯とふ頭用地において、各地区長、各種団体のの方々により生名のイメージ草花であるコスモスの植栽を行いました。周辺の木々の剪定作業から清掃まで、たくさんの方々にご協力いただき、きれいに整備されました。

11月ごろにコスモスが一面に咲き見頃を迎える予定です。

8/13 弓削OBサッカーフェスティバル
旧友集い好プレー



8月13日(日)、弓削小・中グラウンドにおいて、第20回弓削OBサッカーフェスティバルが開催されました。参加者は昔を思い出し一生懸命ボールを追いかけ、好プレーや時折見せる珍プレーを楽しみながら、気持ちのよい汗を流していました。試合後には懇親会が行われ、思い出に花を咲かせていました。

8/14 上島町いわぎ野球大会
白球通じ交流はかる



8月14日(月)、岩城総合運動場野球場において、第62回上島町いわぎ野球大会が開催されました。お盆の恒例行事であり、このためだけに故郷岩城に帰省する方もいます。今年も、中学生から50代の選手が入交じり4チームによる熱戦を繰り広げました。時には真剣勝負、時には和気あいあいとプレーする姿に、観客も激励を送り交流を深めました。優勝:谷・浜・西部チーム 準優勝:高原・大谷・新地チーム

8/14 ふるさとソフト
和気あいあい交流



8月14日(月)、弓削体育館において、恒例の第42回ふるさとソフトが開催されました。同期でチームを組んだ参加者たちは、和やかな雰囲気、世代を越えた交流の輪を広げました。

試合後には親睦会が行われ、年に一度の同級生や先輩・後輩との再開に会場は大変盛り上がりしました。